

みずほCustomer Desk Report 2019/09/19 号 (As of 2019/09/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.21
TKY 9:00AM	108.10	1.1074	119.73	GBP/USD	1.2502
SYD-NY High	108.48	1.1076	119.80	AUD/USD	0.6866
SYD-NY Low	108.09	1.1014	119.42		0.6869
NY 5:00 PM	108.45	1.1030	119.64		0.6813
					0.6829
NY DOW	27,147.08	36.28	日本2年債	-0.2700	▲2.00bp
NASDAQ	8,177.39	▲8.62	日本10年債	-0.1900	▲4.00bp
S&P	3,006.73	1.03	米国2年債	1.7621	3.21bp
日経平均	21,960.71	▲40.61	米国5年債	1.6762	1.28bp
TOPIX	1,606.62	▲7.96	米国10年債	1.7988	▲1.04bp
シカゴ日経先物	21,945	55	独10年債	-0.5105	▲3.50bp
ロンドンFT	7,314.05	▲6.35	英10年債	0.6395	▲5.35bp
DAX	12,389.62	17.01	豪10年債	1.1310	0.60bp
ハンセン指数	26,754.12	▲36.12	USDJPY 1M Vol	6.20	▲0.35%
上海総合	2,985.66	7.54	USDJPY 3M Vol	6.51	▲0.12%
NY金	1,515.80	2.40	USDJPY 6M Vol	6.55	▲0.05%
WTI	58.11	▲1.23	USDJPY 1M 25RR	-1.43	Yen Call Over
CRB指数	177.63	▲1.16	EURJPY 3M Vol	6.88	0.00%
ドルインデックス	98.56	0.30	EURJPY 6M Vol	7.05	▲0.03%

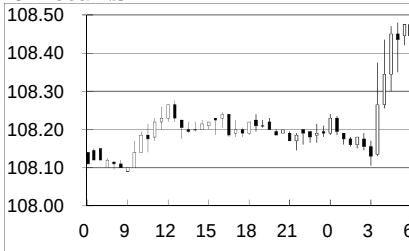
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月18日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/1.7%	0.5%/1.9%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-0.1%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	8月 1,364K/1,419K	1,250K/1,300K
9月19日	3:00	米 FOMC 政策金利	-	1.75-2.0%
	3:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	「継続するリスクに対する保険を提供するため、今回の措置を講じた。」	

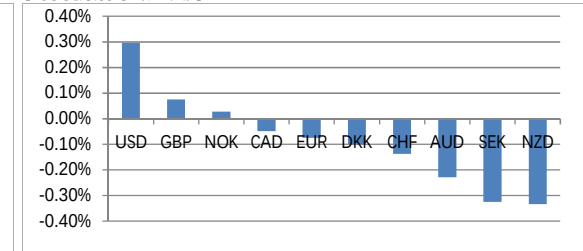
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月19日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	8月 15.0k/5.2%	41.1k/5.2%
		日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.10%
		日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	8月 -0.3%/2.3%	0.2%/2.9%
	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	-	0.75%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	9月 10.5	16.8
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	213k
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 5.38M	5.42M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1000-1.1100	119.00-120.20

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル/円は上昇。FOMCを控えて序盤は様子見ムードが強く、動意の薄い推移が続いた。注目されたFOMCは市場予想通りFF金利の誘導目標を25bps引下げ1.75-2.00%にすることが発表された。一方でメンバーの政策金利見通しでは19年と20年は追加利下げを見込んでおらず、21年以降に利上げ再開であったこと等から、タカ派の印象が強まり、ドル買いが先行、ドル/円は一時108.48円まで上昇した。ただ、パウエルFRB議長の会見では「経済が弱まればさらなる継続利下げが必要になる可能性もある」と述べるなど追加利下げへの姿勢も示しており、ドル/円の上値は限られた。

本日のドル/円は堅調な推移を予想。追加利下げ観測の後退に続き、本日から米中の通商次官級会合も始まり、リスクセンチメントの改善も進んでいる状況。ドル/円のサポート材料が多く、上昇基調で推移するものと思われる。また、本日開催の日銀の金融政策決定会合にも注目したい。短期政策金利はマイナス0.1%の据え置きという見方が大宗であるが、各国中銀が利下げを実施する中、日銀の動きにも警戒したい。

東京	東京時間のドル円は、108.10レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが強まったことや、日経平均株価の底堅い推移を背景にドル円は一時108.27まで上昇。その後は本日予定されているFOMCの結果発表を控えて動意なく推移し、108.23レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.23レベルでオープン。引き続きFOMCを控えてドル円は小動きであり、108.17レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2484レベルでオープン。欧州委員会委員長が合意なき離脱は非常に現実的と示したことや英8月CPIが市場予想を下回り2016年来の低い伸びとなったことからボンドは1.2439まで下落。その後は上値重く推移し、1.2457レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	海外市場でドル円は108.27まで戻すものの、その後はFOMC結果発表を控えて108.20付近での推移が続き、108.17レベルでNYオープン。朝方は米8月住宅着工件数が予想を上回り、前回分も上昇修正されるが、FOMC結果発表を午後控えて、ドル円の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続く。午後はFOMC結果発表を目前に、低下していた米金利が更に低下する展開を受け、ドル円は108.11まで下落する。注目のFOMCでは市場予想通り政策金利を25bp引き下げ1.75-2.0%にすることが発表された。7月同様ジョージ・カサスシティ連銀総裁とローゼン格林・ボストン連銀総裁が据え置きを主張したが、今回ブラッド・セントルイス連銀総裁が50bpの利下げを主張し、Fed内ではばらつきがあるとの見方が強まった。四半期に1度更改される景気・金利見通しでは、景気悪化が心配されるものの、ここ最近の米経済指標が大きく崩れていないことから一部で予想はされていたものの、声明文では追加利下げを示唆する部分は見られず、金利見通しも来年末まで現状維持で2021年以降に利上げ再開であったこと等から、タカ派の印象から短期金利が上昇し、ドル買いも強まり、108.48まで上昇する。終盤に掛けてはイベントを通過し、調整中心の値動きとなり、108.45レベルでクロスした。一方、ユーロもFOMC結果発表を控えて、海外市場で狭いレンジでの推移が続き、1.1052レベルでNYオープン。午前中はFOMC結果発表を控えて、狭いレンジでの推移が続く。午後はFOMC結果を受けたドル買いに1.1014まで下落する。終盤に掛けては、方向感のない推移が続き、1.1030レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田